



(株)丸本組安全衛生協議会会員 各位

この度、令和2年6月26日(金)に開催を予定しておりました「第75期安全大会」につきまして
新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大予防と、皆様の安全を考慮いたしました結果、やむ
なく集合開催を自粛とさせていただくこととなりました。本来であれば、皆様をお迎えし、全員で
「工事の安全」に対する想いを一つにし、皆様と共に更なる安全と一緒に高めたいと存じますが、
何卒、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

1. 社長メッセージ
2. (株)丸本組安全衛生協議会 会長メッセージ
3. 宮城労働局石巻労働基準監督署長メッセージ
4. 第75期 労働安全衛生方針
5. 安全標語入選発表

安全衛生協議会 会長表彰

13件



株式会社 丸本組・株式会社 丸本組安全衛生協議会

1 社長メッセージ

第75期(株)丸本組並びに(株)丸本組安全衛生協議会安全大会を開催するにあたり一言ご挨拶を申し上げます。本大会は「エイジフレンドリー職場へ! みんなで改善 リスク低減」をスローガンに展開する全国安全週間に向けて固い決意を確認する大会でございますが、新型コロナウィルスの感染が全世界に蔓延し多大な影響を及ぼす中、三つの密を避ける感染予防対策徹底のため、やむを得ず書面開催の運びとなりました。会員皆様には感染予防措置を確実に講じていただきますようお願い致します。

さて弊社は昨年大変重篤な労働災害を起こしてしまいました。犠牲となられた方、またご家族にお詫び申し上げますとともに衷心より哀悼の誠を奉げます。一度、重篤事故が起きればその悲しみは無限で社業への影響は計り知れません。

発災十年を迎える東日本大震災復興事業に携わり、人命を守る施設の施工現場において尊い人命を失ってしまいました。二度とこの様な労働災害を起こすことが無いよう社内外に「安全文化」を構築し継承する意識改革と行動指針を掲げました。

会員皆様と全社員が改善意識を持ち協力しながら安全に対する意識を更に高め、先手々の安全対策を講じながら社是であります『安全は全てに優先する』職場環境を作つてまいります。建設業を取り巻く環境は新型コロナウィルスの世界的蔓延で新たな職場様式や生活様式を求められる大転換期となっております。情報通信技術活用時代にふさわしい最先端の安全職場を目指してまいりましょう。

結びに会員皆様のご活躍を大いに期待し、75期を迎える節目の年、心新たに『空から見えるいい仕事』を目指してまいります。

令和2年 6月26日 株式会社 丸 本 組
代表取締役 佐藤 昌良

2 安全衛生協議会 会長メッセージ

(株)丸本組・(株)丸本組安全衛生協議会の会員皆様におかれましては、日頃から協議会の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は本年度より会長職を拝命致しました 守 でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、第75期安全大会はお知らせのように自粛とさせて頂きました。本来、安全大会は工事現場で優先すべき安全についての知識と意識作りのために行う決起集会のことです。自粛は残念でなりません。これからも引き続き会員の皆様が一丸となって安全対策に取り組んで頂きますよう強くお願い申し上げます。

今、世界的な新型コロナウィルス感染症の拡大で建設業も大きなダメージを受けております。各現場では通常の安全対策に加え、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、3密の回避、マスクの着用、手洗い・消毒等を徹底させております。そこからは地域のインフラや生活の安全を守るため、現場を止めてはならないという緊張感が伝わってきます。本当にご苦労様です。これからも感染リスクへの注意、マスク熱中症対策を徹底しながら、実務を安全に着実に進めていってください。そして今こそ「安全はすべてに優先する」の原点に立ち返り、働く仲間が健康にまた安全に働く職場環境作りに努められますようお願い申し上げます。

今年度のスローガンは「エイジフレンドリー職場へ! みんなで改善 リスク低減」です。高齢者労働者が安心して働く職場環境を目指すと共に新型コロナウィルス感染症による作業環境の変化による労働者のメンタルヘルス対策にも十分に配慮して頂くようお願い申し上げます。

結びに(株)丸本組そして協議会会員の皆様の社業がますます繁栄されますことを祈念し、ご挨拶とさせて頂きます。

令和2年 6月26日 (株)丸本組安全衛生協議会
会長 守 健夫

3 石巻労働基準監督署長メッセージ

時下ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

また、株式会社丸本組・株式会社丸本組安全衛生協議会の皆様におかれましては、日頃より労働災害防止活動に熱心に取り組んでおられることに、深く敬意を表します。

さて、産業界での自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、企業を始め関係各界の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的とした全国安全週間が、本年も7月1日から7日まで実施されます。全国安全週間は昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、一度も中断することなく続けられ、本年で93回目を迎えます。

この間、関係者の皆様の努力により労働災害は長期的には減少しており、令和元年の石巻労働基準監督署管内における休業4日以上の死傷災害は、一昨年に比べ18件、4.7%の減少となりました。しかしながら、建設業においては、昨年は一昨年を上回る死傷災害が発生し、3名の尊い命が失われるとともに本年4月末で、死傷災害が前年同期比で7件増加しております。さらに、全産業の死傷災害で60歳以上の労働者が占める割合が増加傾向にあります。

本年の建設業における死傷災害については、重機との接触により発生するなど、基本的な安全対策が行われていない状況がなおみられ、引き続き、危機感を持って、作業に関わる全員が現場を確認し、設備面での対策を講じながら適切な作業手順を遵守していくことが必要になっております。さらに、建設業においても高齢者が安心して安全に働く職場環境を形成していくことがますます重要になっております。

こうした中、本年度の全国安全週間は「エイジフレンドリー職場へ! みんなで改善 リスクの低減」をスローガンの下で取り組むこととされています。株式会社丸本組・株式会社丸本組安全衛生協議会の皆様におかれましては、全国安全週間を機に、改めて労使が一丸となってリスクアセスメントを実施し、エイジフレンドリーな職場環境を整備するとともに、その取組みを、あらゆる世代の労働災害防止につなげていただきますようお願いさせていただきます。

結びに、皆様のますますのご健勝とご発展並びに各事業場の無災害をご祈念し、メッセージとさせていただきます。

令和2年 6月26日 石巻労働基準監督署
署長 佐々木 賢一



4 第75期 労働安全衛生方針

『安全は全てに優先する』という社是のもと、私たちの仕事に伴うリスクを低減し、働く仲間が、毎日無事に家へ帰ることができるよう、労働安全衛生活動を継続し推進する。

安全行動指針

1. 意識改革と行動により、「安全文化」を構築し継承する。
2. 共に働く仲間同士が、互いに改善意識を持ち協力する。
3. 情報を共有し合い、先手先手の安全対策を行う。
4. 働く仲間同士が、互いに注意し合える職場環境をつくる。

5 入選安全標語

《協力会社入選 10点》

| | | |
|--|------------|---------|
| ① 「まあいいか」少しの妥協も許さない 厳しいチェックで 守る安全 | 北上電設工業(株) | 高橋 和 様 |
| ② 「目配り」「気配り」「心配り」世代を超えて 互いに声かけ 達成しようゼロ災害 | 大正建設(株) | 大槻 智美 様 |
| ③ あれなんだ? いつもと違う この違和感 作業を止めて 安全確認 | (株)東北マイタック | 佐藤 耕 様 |
| ④ これくらい ゆるむ心に潜む事故 近道手抜きに落とし穴 | (株)マルテック | 芳賀 隆志 様 |
| ⑤ 人に頼るな 任せるな 気付いた私が すぐ行動 !! | (株)ヒラツカ | 上村 信之 様 |
| ⑥ いい汗も 慣れと油断で 冷や汗に | 陽光建設(株) | 結城 千晴 様 |
| ⑦ 惰るな ヒヤリで済んだあの行動 次回に生かし安全現場 | (有)高橋潜水工業 | 高橋 勇喜 様 |
| ⑧ 危険箇所 見て見ぬフリせずに 即報告・即改善 | (株)岡田電気工事 | 福島 敬大 様 |
| ⑨ 災害は 少しの油断と手抜きから みんなで無くそう ヒューマンエラー | (株)海洋建設 | 山本 和彦 様 |
| ⑩ 休日前後は要注意 緩む緊張 事故一生 | (株)ミヤショウ | 宮本 政士 様 |

《社内入選 2点》

| | | |
|----------------------------------|------|-------|
| ⑪ 安全に 初心者ベテラン違いなし 全社で取り組む 安全文化 | 総務部 | 今野 武 |
| ⑫ 根付かせよう 危険見分ける注意の目 その場で摘み取る油断の芽 | 仙台支店 | 淀川 善弘 |

《船舶標語入選 1点》

| | | |
|----------------------------|-----|--------|
| ⑬ ルールを守り 安全運航 ダブルチェックで安全確認 | 船舶部 | 渡辺 裕次郎 |
|----------------------------|-----|--------|